

平成 29 年度第 1 回田辺市子ども・子育て会議 会議録	
開催日時	平成 29 年 8 月 30 日 (水) 午後 7 時 00 分～午後 8 時 27 分
開催場所	田辺市民総合センター 1 階 機能訓練室
内 容	(1) 委員の委嘱 (2) 委員長及び副委員長の選出について (3) 「田辺市子ども・子育て支援事業の進捗状況」について (4) 「田辺市における新たな事業等の取り組み状況」について (5) 今後のスケジュール (6) その他
出席委員	堀切委員長 山口副委員長 清水委員 竹中委員 寺川委員 隼委員 成田委員 玉井委員 川口委員 橘委員 岩見委員 太田委員 中山委員 木村委員 弓場委員 計 15 名
欠席者	中瀬委員 畑中委員 稲田委員 湯場委員 赤松委員 計 5 名
出席職員	保健福祉部 宮野子育て推進課長 宮田参事 狩谷保育係長 西崎保育係企画員 平こども家庭係長 坂井こども家庭係企画員 教育委員会 学校教育課 小松学事係長 新谷指導係指導主事
報道関係者	1 名 (紀伊民報)
傍聴者	なし
事務局	<p>お昼間お仕事等でお疲れのところ、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>予定の時刻となりましたので、只今より平成 29 年度第 1 回「田辺市子ども・子育て会議」を開催させていただきます。</p> <p>私は、子育て推進課の宮田と申します。</p> <p>委員長が決まるまでの間、司会進行をさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>この会議の概要についてごく簡単に御説明いたしますと、平成 24 年に制定されました「子ども・子育て支援法」によりまして、地方版子ども・子育て会議を設置することが努力義務とされました。</p> <p>これを受けまして、本市では平成 25 年 7 月、「田辺市子ども・子育て会議」を条例設置いたしました。</p> <p>参考までに、資料 2 として条例の写しを配布させて頂いておりますので、御覧いただければと存じます。</p> <p>なお、会議条例第 4 条で、会議は、委員及び議事に関係のある特別委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができないとなっております。</p>

林副市長	<p>本日の出席は、半数以上の出席となっております、会議は成立しております。また、この会議は、子ども・子育て会議傍聴規程に基づき、特別な事情のない限り傍聴を許可することとさせていただきます。</p> <p>併せて、議事録要旨作成・公開のため録音することについても御了解頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、林副市長から御挨拶を申し上げます。</p> <p>(林副市長あいさつ) (略)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、委員の委嘱状の交付を行います。</p> <p>なお、委員の任期は会議条例により、2年となっております、今回の任期は、平成29年6月1日から平成31年5月31日となっております。</p> <p>委員の皆さんを代表して、清水伸一さんに林副市長から委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>それでは清水さん、恐れ入りますが前の方へお願い致します。</p>
林副市長	<p>(委嘱状を朗読して手交) ~省略~</p> <p>どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、他の委員の皆様には、自席に委嘱状を配布させて頂いておりますので、御了承願います。</p> <p>ここで、改めまして委員の皆様を御紹介させていただきます。</p> <p>資料1として、委員名簿を御用意しておりますので、それに沿って御紹介申し上げます。</p>
事務局	<p>(委員紹介) ~省略~</p>
事務局	<p>次に、本日出席しております職員を紹介させていただきます。</p>
事務局	<p>(職員紹介) ~省略~</p>
事務局	<p>委員の皆様には、各種団体の代表として委員をお願いしているところでもありますので、各種団体の役員改選等により委員の変更があった場合には、御連絡を頂ければその都度対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、林副市長につきましては、この後、他の用務のため退席させていただきますので、御了承願います。</p>

事務局	<p>(林副市長退席)</p> <p>それでは、引き続き会議を進めさせていただきます。 次に、委員長及び副委員長の選出についてです。 正副委員長については、会議条例第3条の規定に基づきまして、委員の互選により選出することとなっておりますが、如何いたしましょうか。</p> <p>(事務局一任の声あり)</p>
事務局	<p>事務局一任のお声を頂きましたので、事務局案としまして、委員長に堀切庸滋委員、副委員長に山口キヨ子委員にお願いしたいと考えておりますが、如何でしょうか。</p> <p>よければ拍手をもって御承認をいただければと存じます。</p> <p>(拍手あり)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、堀切委員、委員長席へ。山口委員、副委員長席の方へお願いいたします。</p> <p>ここで、代表して堀切委員長から一言御挨拶を頂きます。</p>
委員長	<p>改めまして、皆様こんばんは。</p> <p>ただ今、委員長に選出されましたNPO法人南紀こどもステーションの堀切ですどうぞよろしくお願ひ致します。この会議には何度か参加させて頂いていますが、不慣れなものですから、スムーズな会議運営に皆さんの御協力をよろしくお願ひします。</p> <p>先ほど副市長も言われましたが活発な皆さんの御議論を頂きたいと思ひますのでどうぞよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>それでは、これ以降は委員長に会議の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>委員長、よろしくお願ひ致します。</p>
委員長	<p>それでは、会議次第に従いまして、会議を進めていきたいと思ひます。</p> <p>議事の2番目、「田辺市子ども・子育て支援事業の進捗状況について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明に入る前に、事前に御届けしました「資料4」と「資料5」についてお手元にありますでしょうか。</p>

	<p>それでは説明させていただきます。</p> <p>「田辺市子ども・子育て支援事業の進捗状況」と次の「田辺市における新たな事業等の取り組み状況」につきましては、子ども・子育て支援法により、「市町村における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議すること。」という規定がありまして、皆様に事業についてお図りするものです。</p> <p>資料3の「子ども・子育て支援事業計画」の冊子を御覧頂けますでしょうか。平成27年に作成いたしました計画書ですが、その29ページに「計画の体系」といたしまして「1、子育て家庭を地域のみんなで応援するまち」</p> <p>(以下、～中略～)</p> <p>と複数の項目を設けまして、事業を進めております。</p> <p>「資料4」が平成28年度のこれらの事業の実績となっております。</p> <p>資料には、再掲となっております事業もありまして、事業数としましては130事業となっております。</p> <p>これらの事業につきまして、一部を選びましてお伝えさせていただきます。</p> <p>(以下、22事業を抽出して説明) ～省略～</p>
委員長	<p>ありがとうございます。143にのぼる多くの事業の中の一部を事業内容、実施状況、成果、課題等について説明がありました。</p> <p>今の説明につきまして、なにか御質問、御意見はございませんでしょうか。</p>
A委員	<p>41番、修学奨励金ですが、貸与なんで返す必要があるんですが、利息は付くのですか。</p>
事務局	<p>無利子です。</p>
A委員	<p>102番、乳幼児健康診査ですが、受診率が高く、ほとんどが受けているようですが、成果の中ではいろいろとアプローチされているようです。その結果は100になっているのですか。</p>
事務局	<p>アプローチした結果が、表の受診率です。</p>
B委員	<p>初めての会議で、また膨大な資料で大変です。出来るだけわかりやすくお願いをします。</p>
委員長	<p>多くの資料であり、その中からいくつかピックアップして説明して頂いたところですが。</p> <p>一点、私から。子どもの人権啓発で2月に田辺人権フェスティバルが開催され</p>

	<p>ていますが、1,500人くらいの応募があり1,200人が参加したということです。他にも「人権を考える集い」などがありますが、大人向けはなかなか人が集まらないのですが、小学校とかへの働きかけなどしているのですか。</p>
事務局	<p>その点については人権推進課への聞き取りが出来ていないので、この場でお答えができません。申し訳ございません。</p>
委員長	<p>子どもの頃から、こうして人権啓発にふれることが大事だと思います。</p>
委員長	<p>次の2、「田辺市における新たな事業等の取り組み状況について」ということで説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それではまず「資料5」の実施目標の方から説明させていただきます。 これは、先ほどの実施事業について、今年度どのような実施目標で事業を進めていくかということで各課から報告を受けているものですが、数が多いものから事業の拡充を行っているものについて説明させていただきます。 (以下、5事業を抽出して説明) ～省略～</p>
委員長	<p>ただ今の「資料5」の説明について、御質問はございませんか。</p>
A委員	<p>12番、新庄第二学童保育所は、どこに開所されたのですか。</p>
事務局	<p>新庄第二小学校内に整備しています。 小学校の校舎増築工事で2階建ての校舎を併設したのですが、その1階に学童保育所を整備しています。</p>
委員長	<p>他になければ、次に「田辺市における新たな事業等の取り組み状況」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは「資料6、まろみ保育所の移転事業」と「資料7、学童保育所の整備事業」について説明させていただきます。 (以下、説明) ～省略～</p>
委員長	<p>「田辺市における新たな事業等の取り組み状況について」御質問ございませんか。</p>
C委員	<p>まろみ保育所について、利用定員130人となっているところ、現在児童数が151人となっていますが、職員数の加配はないのですか。保育士は大変だと思うのですがあくまで職員数はこの利用定員に対してということなのですか。</p>

事務局	<p>国が定めた保育士の配置基準があり、0歳児であれば1人の保育士が見れる0歳児の人数は3人まで、1歳児・2歳児は1人の保育士で6人まで見ることができます。3歳児は20人まで、4歳児・5歳児は30人まで見ることができる訳ですが、いずれにしても国の基準を守るということは当然ですけれども、配慮の必要な児童もおりますので、そういった子どもの発達を促すために、加配保育士を何名か多めに配置している状況です。</p>
D 委員	<p>私は私立幼稚園の立場で出席しています。2月7日の紀伊民報に県の教育総合改革について報道がありました。教育改革等については市町村独自で進められていますが、今、幼児教育、保育所、幼稚園も含めて「小1プロブレム」ということが話題になっています。</p> <p>これは、「小学校1年生の問題」という意味で、例えば、幼稚園や保育所から小学校に進学した場合に「集団になじめない。」「友達関係がうまく作れない。」「授業中に立ち歩いて授業効果が上がらない。」といったことを総称で「小1プロブレム」という訳ですが、県の教育委員会と知事部局が教育総合改革で小学校1年生が円滑に学校になじめるような幼児教育のあり方を検討する会議がスタートし、4月から県の教育委員会の中に「幼児教育推進班」というのが新しく置かれています。</p> <p>深刻な状況で小学校に入った子ども達の戸惑いの状況があり、中学生などの問題が表面化していますが、田辺市ではどんな形での、知事部局がこう言うから横一線に並ぶという訳ではありませんが、これは、小学校と幼児教育、保育士との交流をするということと、もうひとつカリキュラムを連続性のあるものを作り上げていくことは大変大事なことだと思います。</p> <p>市内の小学校では公開の授業をして頂いていて、私もそちらへ参加させて頂いております。幼稚園の方では、夏休みの期間中に公開保育をやっている呼びかけをしています。その中で、スムーズな連携のために、「幼稚園はどんなことを重点を置けばいいのか。」といったアンケートなども頂いて、幼稚園の指導に活用させて頂いているのですが、この県の教育総合改革を受ける形で、田辺市ではどうしているのか。と申しますのは、今、幼児教育の量の問題の論議がほぼ落ち着いて、来年、平成30年4月1日から新しい幼稚園教育要領というのがスタートする訳ですが、その中ではやっぱり「質の高い幼児教育をどう実現するか。」という、質的な論議のほうに教育要領は変わってっていると、私は思っています。そのあたり、田辺市の教育委員会になるのでしょうか、小1プロブレムに向けての取組の方向性みたいなものをお聞かせ下さい。</p>
学校教育課	<p>公立幼稚園を担当している学校教育課ですが、今、委員がおっしゃるように、公立幼稚園におきましても教育要領の改訂に向けて、質の高い保育を行うための研修について、取組を進めているところです。あと「接続」ということについて</p>

	<p>ですが、特に配慮の必要な児童、生徒のよりスムーズな接続というところにつきましても、就学相談、昔は就学指導と言っていましたが、その部分をより丁寧にやっていく必要があるのではないか、ということで、「5歳児」とか「ひまわり相談」とかそういったところへ相談されている保護者の方や、そういったところからつながるよう、より丁寧なガイダンス、情報提供とかを行っています。</p> <p>保護者の方が、子ども達が安心して学校に入っていけるように事前に、学校見学とか、不安が強い場合には事前に体験をしてみるとか、そう言ったこともやっています。</p> <p>また、具体的に幼稚園や保育園で積み上げをしており、出来るだけ我々がそういったところも事前にお伺いさせて頂いて、そうした情報を学校に接続できるように取組をしているところです。</p>
委員長	<p>それでは、次の「今後のスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールにつきましては、先ほどご説明させて頂きました事業計画が、平成31年度までとなっておりますので、32年度から新しい計画を作成するためニーズ調査を来年度実施する必要があります。そのアンケート調査の内容につきまして皆様のご意見を来年度お伺いする予定にしております。</p>
委員長	<p>スケジュールにつきまして、何か御質問はございませんでしょうか。</p>
委員長	<p>よろしいですか。 それでは、その他の項で何かございませんか。</p>
A委員	<p>27年3月策定の「田辺市子ども・子育て支援事業計画」の資料ですが、41ページ、家庭類型のタイプがA・B・Cで載っています。タイプAはひとり親家庭ということですが、表5-1「家庭類型」の中にこのタイプAを入れてないのは何か狙いか何かあったのですか。</p>
事務局	<p>「表5-1」については、父親、母親がいる家庭を前提にしたものですので、ひとり親についてはこの表の中には入ってこないことになります。</p>
A委員	<p>あえて入れていないということですか。</p>
事務局	<p>この表は、両親がいる場合のみの、両親の就労形態の組み合わせの表ですのでこの表においては、ひとり親家庭の入る場所がないということです。</p>

委員長	<p>他に事務局からございませんか。</p> <p>それでは、長時間に亘りまして、皆様の御協力に感謝申し上げます。</p> <p>委員の皆様には、これから2年間、子ども・子育て会議の運営に御協力を頂きますようよろしくお願い致します。</p> <p>これで、平成29年度第1回「田辺市子ども・子育て会議」を終了致します。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
-----	--